



2021. 12. 1 No. 9

12月の生活目標

礼儀正しくしよう

- ・近所の人・先生・友達に心を込めた挨拶をしよう。
- ・正しい言葉遣いを心掛けよう。

幸福の法則

西條中学校へ来て早くも四か月が経ちました。そして、気付けば今年も残りわずかとなってしまいました。そろそろ今年一年を振り返る時期となりました。

全ての人に時間は平等に与えられています。同じ時間を過ごすのであれば「幸福」を感じる時間が多い方がよいと思います。では、どんな時に人は「幸福」を感じるのでしょうか。「幸福」を感じると人は自然と「笑顔」が生まれます。「笑顔」を生むためには自分が興味をもっていることを行うのが近道です。音楽評論家の湯川れい子さんは、ある時「自分の不幸や成功できないことをいつも誰かや何かのせいにしてている」ことに気付き、幸福の法則として「あいうえお」の心得を考えました。「あ」は会いたい人に会う、「い」は行きたい所へ行く、「う」はうれしいことをする、「え」は選ばせてもらう、「お」はおいしいものを食べるといったものです。私はこの中の「え」の選ばせてもらうという考えがとても重要だと思えます。これは言い換えると『自分で責任をもって行動する』ということであり、『自分が選んできた結果が今の現実なのだということを受け止めなさい』ということだと思えます。チャレンジすれば失敗することもあります。勉強や部活動の試合や大会等で失敗したことを人のせいにするのではなく、自分を見つめ直すことが必要だと思います。自分の目標を達成することができたのか、その過程はどうであったか、やり残したことはないのかなどを振り返ることが大切だと思います。自分で選んだ好きなことだったら、多少辛くても頑張れるのではないのでしょうか。好きだからこそ、自分で選んだからこそできることがあると私は信じています。この「あいうえお」の法則を心に留め、是非「笑顔」の時間を増やすヒントにしてもらえたらと思います。

話は少し変わりますが、先日の企業訪問時に引率していた中で、自発的に訪問先の地元の方やお客様に挨拶をしている生徒の姿が見られました。また、落ちていたゴミを見つけて拾ってくれる生徒もいました。自らの意思でそのような行動を行い、お褒めの言葉をいただいたとうれしそうに話してくれる姿がとても印象的でした。大変すばらしい姿を目の当たりにし、とても心が温かくなるのを感じました。

今の一日一日の生活の積み重ねが、来たるべき明日を創り上げていきます。まもなく年末年始を迎えますが、将来に向けて貴重な毎日を大切に過ごしていけるよう、ご家庭でも声かけをよろしく願います。

副担任 安養 美香

★ 栄光の記録 ★

○第63回氷見市駅伝競走大会

女子	1位
男子	2位
個人賞	3位

○第51回高岡地区中学校新人大会

ハンドボール男子	1位
ハンドボール女子	3位

○富山県科学展覧会

研究努力賞	科学部
-------	-----

○地球温暖化防止活動に関するポスター

佳作	1名
入選	2名

○第16回春の全国中学生ハンドボール選手権大会 富山県代表決定戦

男子ハンドボール部	1位
(県代表として春中ハンド出場決定)	

12月 の行事予定

2日(水)	学納金口座引落
4日(金)	新入生入学説明会
20日(月)	書初練習会 大掃除
22日(火)	給食最終日 保護者会 午後
23日(水)	保護者会 終日
24日(木)	終業式 西條デー
27日(月)	冬季休業(～1月10日)
28日(火)	学校閉庁(～1月3日)

※3学期の予定

1月11日(火) 始業式、給食開始、書初大会



書初練習会

20日(月)の3・4限に、書初練習会を行います。書初道具の準備をお願いいたします。

〈準備物〉

だるま筆、小筆、文鎮、墨入れ、墨汁、書初用下敷き、新聞紙1日分、ビニールシート、ゴミ入れ用ビニール袋

〈練習会の持ち物〉

書初道具、体操服上下

※練習用紙12枚は学校で準備しますが、それ以上必要な場合は各自で準備してください。

※書初大会は1月11日(火)です。

新体操服について

新体操服のロゴデザインが決定しました。来年度の新入生から新体操服に変更になります。新体操服の移行期間を2年間とし、令和6年度より新体操服に完全移行します。今年度の1・2年生は、来年度以降も現行の体操服を着用しますが、移行期間中の体操服の取り扱いについては、以下のようになっています。

【移行期間中の取り扱いについて】

- ・来年度の2・3年生は、現行の体操服を着用する。
- ・令和4年度以降の新入生は、学校行事(運動会、校外学習等)や部活動の各種大会に参加する際、新体操服を着用する。
- ・移行期間中は、新入生も授業等において現行の体操服を着用してもよい。
- ・移行期間中は、2、3年生が新体操服を購入し、着用してもよい。

決定したロゴデザイン



保護者会のお知らせ

12月22日(水)、23日(木)に保護者会を行います。お子様の学校における様子や冬休み中の生活などについて懇談したいと思います。

※面談時間などの詳細については、各学級担任からお知らせします。

※面談の折に「通知表」をお渡しします。

※通知表の出欠の記録は12月3日(金)までのものです。

※上履きをご持参ください。また、廊下が集合場所のため、防寒の備えをお願いします。

※マスクの着用、生徒玄関での手指消毒をお願いします。

※発熱、風邪症状のある場合はご来校をお控えいただき、その旨を担任までご連絡願います。面談日時については、改めて相談します。



～校外学習を終えて～

11月16日(火)に、校外学習を行いました。4コースに分かれ、企業見学や体験活動を行いました。生徒の感想を掲載します。

校外学習で学んだことは、富山県の魅力や歴史、文化です。勝興寺には七不思議があり、楽しく学習できました。日本総合リサイクルでは、大型バスや電車を買い、その部品をリユース、リサイクルしていました。環境を考えて二酸化炭素の排出量の削減やガソリンをろ過して重機に再利用していることに驚きました。いなみ木彫りの里では、木彫り体験を行いました。木彫りは1700年代に伝わった、長い歴史がありました。木彫りの魅力を、SNS等を通して伝え、県外や海外からもお客さんがくることが分かりました。

1組

僕は、校外学習を通してたくさんを知ることができました。日本総合リサイクルでは、SDGsの取り組みをしっかりと行っており、二酸化炭素の排出量の削減に向けたさまざまな取り組みを行い、世界のために役に立っていることが分かりました。勝興寺は、昔は小矢部にあったけど、関ヶ原の戦いで高岡に移動したそうです。日本で8番目の広さで、長い歴史がありました。いなみ木彫りの里では、SNS等時代に合わせた発信方法を取り入れていました。どの企業も魅力発信の仕方に違いがあることが分かりました。

1組

今回の校外学習で、富山県の企業はどのようにして富山県の魅力を発信しているのかを知ることができました。ふるさとギャラリーでは、富山県だけでなく、日本や世界で人気のあるドラえものの制作過程を知ることができました。能作では、錫を使った体験活動を通して、伝統工芸を伝える能作の魅力について、知ることができました。どの企業も、内容は違っていても、日本や世界に魅力を伝えようという気持ちは同じで、そのために、体験活動やイベント、ガイドツアー等、さまざまな取り組みや工夫をしているのだなと感じました。そして、そんな魅力たっぷりの富山に住んでいることが、改めてうれしく感じました。

1組

私は校外学習を通して、働く人は地域のために働いているということを改めて感じました。ますの寿司源では、技術だけでなく思いも大切だということが分かりました。池田屋安兵衛商店では、働いている方たちも地域の人々がいつまでも健康でいられるようにと、昔からの伝統を引き継ぎ、菓を販売していると感じました。私もこの富山で将来働いて、一人でも笑顔になれる人が増えるように努力していきたいです。人のために働くことはとても大切で、大変なことだと知ることができました。これからは、働いてくれる人たちにきちんと感謝をしていきたいです。

2組

僕が特に印象に残った見学先は、ますの寿司源です。ビデオや実際にますの寿司の調理工程を見学し、技術だけでなくお客様へのおもてなしの心もこめて作っていることが伝わってきました。また、帰ってからいただいたますの寿司を食べると、脂がのっていてご飯もおいしく、感動しました。他にも、日本総合リサイクルでは、仕事内容だけでなく、3Rといった知識も学びました。学んで終わりではなく、できるだけごみを出さないことや、中古のものを使うといった意識もしていこうと思いました。1つ1つの見学や体験が充実している校外学習でした。

2組

ますの寿司源では、作り方の説明を受け、いろいろな工程があることを知りました。料理長に認められて、ますをさばくことができる人は、今は3人だけであることに驚きました。池田屋安兵衛商店では、幅広い年代の人たちのことを考えて、薬の粒を小さくしていました。大量生産ができる道具や実演を見て、すごいと思いました。日本総合リサイクルでは、環境に配慮しながら活動していることを知りました。高岡地場産業センターでは、コースター作りをしました。今回の校外学習で、今まで知らなかった富山の魅力をたくさん知ることができて、よい機会となりました。 2組

今回の校外学習で行った4つの企業全てが、富山だけでなく世界に向けて活動しており、人のためを思って努力していると感じました。ますの寿司源では、今までもこれからもおいしいますの寿司を提供するという思いやりの心が見えました。池田屋安兵衛商店では、実演を見て、作った薬に触らせてもらいました。薬のすごさだけでなく、私たちに分かりやすく説明してくれたことも印象に残りました。今は、どの企業もホームページやSNS等を使って魅力を伝えていました。しかし、私たちのように実際にその場所に行くことも、たくさんの魅力を発見できると思いました。

3組

4つの見学先に行き、地域の魅力や伝統工芸を知ることができ、学びの視野が広がるよい体験ができました。勝興寺では、ガイドさんが勝興寺の魅力をよりよく伝えるために、自分の経験をふまえてお話されていました。伏木にこんなにすごいお寺があると、初めて知りました。高岡市美術館では、藤子・F・不二雄さんが当時マンガを制作していたものや、実際に使っていた道具があり、高岡はすごい町だなと思いました。能作では、昔からの伝統を守り、さらによりよくなるように努力していました。企業見学で学んだことを活かして、これからの学びにつなげていきたいです。

3組

午前中は、日本総合リサイクル、勝興寺に行きました。日本総合リサイクルでは、電車や大型バスを工場に運ぶ秘密や、リサイクルをして何ができるかを知りました。勝興寺では、400年以上の歴史がありました。お城のつくりを基に造られた寺で、堀のようなものがありました。午後は、高岡市美術館と能作に行きました。高岡市美術館では、ドラえもんやパーマンといった藤子・F・不二雄さんの代表作がいっぱいあり、とても楽しかったです。能作では、多くの職人さんの苦労、努力があり、1つ1つの作品ができるということが分かりました。全部の企業それぞれに魅力や魅力の伝え方があり、とても勉強になりました。

3組

コースター作り



ペーパーウエイト作り



木彫りのプレート作り

